

目標と実績



2015 年度のレスポンシブル・ケア活動における環境保全の取り組みの目標と実績は以下のとおりです。

2015 年度目標と実績の総括

★★★目標達成 ★★目標ほぼ達成 ★さらに取り組みが必要

| 推進項目 | 2015 年度目標 | 2015 年度実績 | 自己評価 | 2016 年度目標 |
|---------------------------------------|---|-----------|---|--------------------------------|
| 環境異常の撲滅 | 環境異常ゼロ | 環境異常ゼロ | ★★★ | 環境異常ゼロ |
| 環境負荷の低減 | (1)大気汚染有害物質の自主管理計画の推進 | | | |
| | アクリロニトリル排出量 10トン以下 | 5.5トン | ★★★ | アクリロニトリル排出量 5トン以下 |
| | (2)産業廃棄物のゼロエミッション化計画の推進 | | | |
| | 5トン以下 | 3.5トン | ★★★ | 5トン以下 |
| | 国内グループ会社産業廃棄物最終埋立量 7.5トン以下 (埋立処分率:2007 年度排出量基準) 0.3% | 5.9トン | ★★★ | 国内グループ会社産業廃棄物 最終埋立量 7.5トン以下 |
| | (3)省エネルギー全社プロジェクトの強化 | | | |
| | エネルギー原単位 1990 年度比 64.5% | 68% | ★ | エネルギー原単位 1990 年度比 64%以下 |
| CO ₂ 排出原単位を 1990 年度比 67.5% | 68% | ★ | CO ₂ 排出原単位 1990 年度比 67%以下 | |

2015 年度は環境異常※ゼロを達成しました。

また、日本ゼオンの事業所では 2011 年度に達成した産業廃棄物ゼロエミッションを継続しています。グループ企業については、600トン以上最終埋立処分をしていた 2007 年度の 0.3%を目標とし、これを達成しました。今後もこの状態を継続します。

アクリロニトリルの排出量削減は、対応設備の導入も含め、現在検討中です。

今後も継続してエネルギー原単位および CO₂ 排出原単位の年平均 1%削減に取り組んでいきます。

※ 環境異常

社規に、「環境関連の法令に定められた基準はもちろん、自らが定めた基準を外れたとき。あるいは、基準は外れなかったが、標準どおりの処置では基準を外れる可能性があったとき。および、基準は定めていないが、苦情を受けたとき、あるいは放置すれば苦情を受けた可能性があったとき。」と定義されています。